

# CSW69 (北京+30) に向けた勉強会

～C. 女性の健康～

12月5日(木) 19時～20時30分

公益財団法人ジョイセフ 草野洋美

# アジェンダ

- ・ 北京行動綱領における「女性と健康」について
- ・ レポートで提起した「女性と健康」、とりわけ性と生殖に関する健康と権利 (SRHR) の日本における状況について
- ・ 女性差別撤廃委員会からの勧告
- ・ この先の4年間—SRHRへのバックラッシュ？

## 国際人口開発会議 (ICPD) (カイロ、1994年)

「カイロ行動計画 (Cairo Program for Action)」(20年間計画)

リプロダクティブ・ヘルス/ライツはカップルおよび個人の基本的権利  
両性の平等・公平／女性のエンパワーメント／若者の性と健康も強調

## 第4回世界女性会議(北京、1995年)

「北京行動綱領 (Beijing Platform for Action)」

「女性の人権には、強制、差別、及び暴力のない性に関する健康ならびにリプロダクティブ・ヘルスを含む自らのセクシュアリティに関する事柄を管理し、それらについて自由かつ責任ある決定を行う権利が含まれる」

# 持続可能な開発アジェンダ2030

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<b>1</b> 貧困をなくそう 	<b>2</b> 気候をゼロに 	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう 	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に 
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう 	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>12</b> つくる責任 つかう責任 
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を 	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさも守ろう 	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	<b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう 	

# 「持続可能な開発目標」(SDGs)(2016-2030)

## ● 目標3

3.1 2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。

3.7 2030年までに、**家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画**への組み入れを含む、**性と生殖に関する保健サービス**をすべての人々が利用できるようにする。

# 「持続可能な開発目標 (SDGs)(2016-2030)」

## ● 目標5

- 5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性及び女児に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。
- 5.3 未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。
- 5.6 国際人口・開発会議 (ICPD) の行動計画及び北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。

# 持続可能な開発目標 (SDGs)

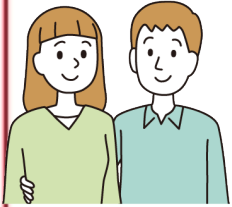
## 不可分の3つの要素

- ◆ SRHR: 性と生殖に関する健康と権利
- ◆ ジェンダー平等
- ◆ 女性と少女のエンパワーメント

- ◆ ジェンダーの平等と女性と少女のエンパワースメントなくしては、SDGs達成はありえないほど重要
- ◆ SRHRの推進がなければ、ジェンダーの平等と女性と少女のエンパワースメントの実現もあり得ない



# 性と生殖に関する健康と権利 セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツ (SRHR)



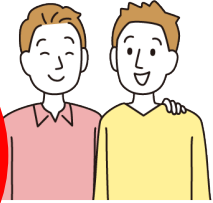
パートナーシップ

セックス

避妊

妊娠・出産

中絶



産む  
産まない

性感染症

不妊

多様な性  
(LGBT/  
SOGI)

検診・  
検査



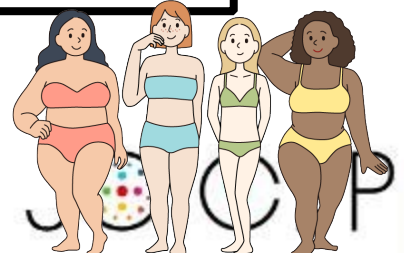
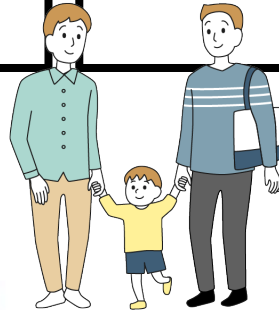
月経

性教育

性暴力・  
デートDV

ジェンダー

ボディ・  
イメージ



# 日本における「女性と健康」課題 -SRHRに注視して

- 墮胎罪撤廃・母体保護法改正
- 緊急避妊薬を含む避妊法へのアクセス
- 包括的性教育の公教育への導入
- 性同一性障害特例法からの手術要件を削除
- 婚姻の不平等（同性間の婚姻の法制化）
- 性的指向及び性自認に基づく差別禁止法の制定

# 緊急避妊薬を含む避妊法へのアクセス

CONTRACEPTION POLICY ATLAS

## CONTRACEPTION POLICY ATLAS ASIA-PACIFIC

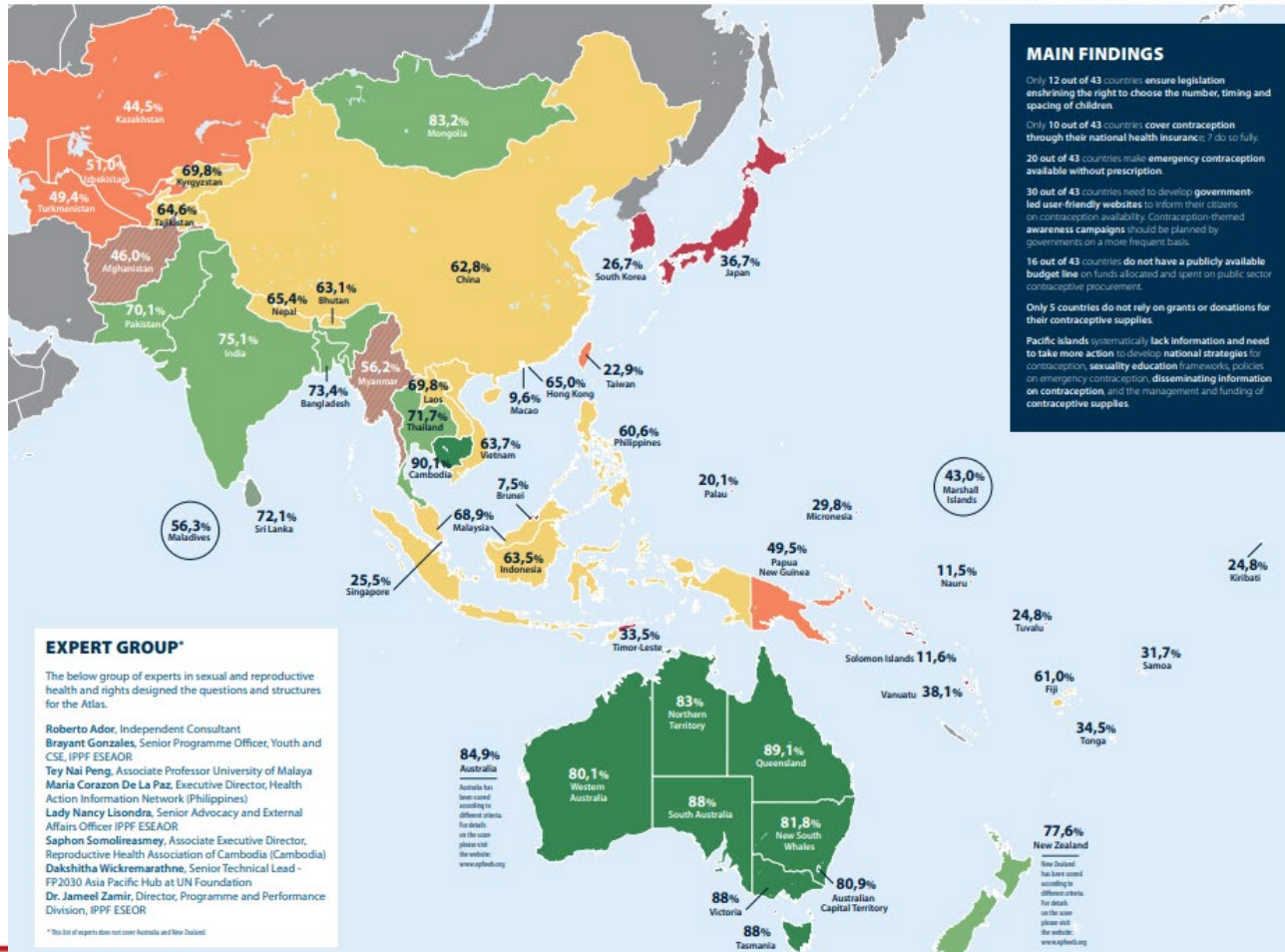


Tracking countries on government policies regarding access to contraception

2023

For more information, please visit [epfweb.org](http://epfweb.org) or contact [secretariat@epfweb.org](mailto:secretariat@epfweb.org)

Rights



**MAIN FINDINGS**

- Only 12 out of 43 countries ensure legislation enshrining the right to choose the number, timing and spacing of children.
- Only 10 out of 43 countries cover contraception through their national health insurance; 7 do so fully.
- 20 out of 43 countries make emergency contraception available without prescription.
- 30 out of 43 countries need to develop government-led user-friendly websites to inform their citizens on contraception availability. Conception-themed awareness campaigns should be planned by governments on a more frequent basis.
- 16 out of 43 countries do not have a publicly available budget line on funds allocated and spent on public sector contraceptive procurement.
- Only 5 countries do not rely on grants or donations for their contraceptive supplies.
- Pacific islands systematically lack information and need to take more action to develop national strategies for contraception, sexuality education frameworks, policies on emergency contraception, disseminating information on contraception and the management and funding of contraceptive supplies.

**RANKING SCALE**

//// Countries that score more than 90 in the Fragile State Index 2022.

[https://fragilestates.org/wp-content/uploads/2023/05/FSI-2022-Report\\_Final.pdf](https://fragilestates.org/wp-content/uploads/2023/05/FSI-2022-Report_Final.pdf)

Cambodia	90.1
Mongolia	83.2
India	75.1
Bangladesh	73.4
Sri Lanka	72.1
Thailand	71.7
Pakistan	70.1
Laos	69.8
Kyrgyzstan	69.8
Malaysia	68.9
Nepal	65.4
Hong Kong	65.0
Luxembourg	64.6
Vietnam	63.7
Indonesia	63.5
China	62.8
Bhutan	61.3
Fiji	61.0
Philippines	60.6
Maldives	56.3
Myanmar	56.2
Uzbekistan	51.0
Papua New Guinea	49.5
Turkmenistan	49.4
Afghanistan	46.0
Kazakhstan	44.5
Marshall Islands	43.0
Vanuatu	38.1
Japan	36.7
Tonga	34.5
Timor-Leste	33.5
Samoa	31.7
Micronesia	29.8
South Korea	26.7
Singapore	25.5
Tuvalu	24.8
Kiribati	24.8
Taiwan	22.9
Palau	20.1
Solomon Islands	11.6
Nauru	11.5
Macau	9.6
Brunei	7.5

**INTERNATIONAL GUIDELINES**

**Nairobi Statement on KP023: Accelerating the Promise (2019)**  
We, representing all nations and peoples, and all segments of our societies [...] will [...] achieve universal access to sexual and reproductive health and rights as a part of universal health coverage (UHC), by committing to strive for [...] zero unmet need for family planning information and services, and universal availability of quality, accessible, affordable and safe modern contraceptives.

**SDG Target 3.7**  
By 2030, ensure universal access to sexual and reproductive health-care services, including for family planning, information and education, and the integration of reproductive health into national strategies and programmes.

**Moana Declaration point 7**  
Prioritise couples and individuals' access to contraception and information to make free and informed decisions about the number and timing of children, thereby preventing unintended and unplanned pregnancies, and reducing the need for abortion.

**Moana Declaration point 9**  
Prioritise adolescent SRHR, including through comprehensive sexuality education, and establish accessible SRH and mental health services for youth in schools and other educational institutions, youth organizations, faith based organizations and communities, ensuring their meaningful participation.

**Asian and Pacific Ministerial Declaration on Population and Development Priority Action 109**  
Accord priority to policies and programmes to achieve universal access to comprehensive and integrated quality sexual and reproductive health services for all women, men and young people in order to, among other things, reduce the unmet need for family planning with special attention on ensuring access for adolescents and unmarried partners, as well as to eliminate maternal, newborn and child mortality, decrease morbidity and to achieve universal access to HIV prevention, treatment, care and support.

**EXPERT GROUP\***

The below group of experts in sexual and reproductive health and rights designed the questions and structures for the Atlas.

**Roberto Ador**, Independent Consultant  
**Bryant Gonzales**, Senior Programme Officer, Youth and CSE, IPPF ESEAR  
**Tey Nai Peng**, Associate Professor University of Malaya  
**Maria Corazon De La Paz**, Executive Director, Health Action Information Network (Philippines)  
**Lady Nancy Lisondra**, Senior Advocacy and External Affairs Officer IPPF ESEAR  
**Saphon Somolreasmey**, Associate Executive Director, Reproductive Health Association of Cambodia (Cambodia)  
**Dakshitha Wickremaratne**, Senior Technical Lead - FP2030 Asia Pacific Hub at UN Foundation  
**Dr. Jameel Zamir**, Director, Programme and Performance Division, IPPF ESEAR

\* This list of experts does not cover Australia and New Zealand.

Reproductive

R

# 日本における「女性と健康」課題 -SRHRに注視して

- 墮胎罪撤廃・母体保護法改正
- 緊急避妊薬を含む避妊法へのアクセス
- 包括的性教育の公教育への導入
- 性同一性障害特例法からの手術要件を削除
- 婚姻の不平等（同性間の婚姻の法制化）
- 性的指向及び性自認に基づく差別禁止法の制定



# SRHR市民社会レポート勧告総括

CSO勧告案	CEDAW勧告
● 墮胎罪撤廃・母体保護法改正	◎ →2年後書類によるフォローアップ対象
● 緊急避妊薬を含む避妊法へのアクセス	◎ →2年後書類によるフォローアップ対象
● 包括的性教育の公教育への導入	◎
● 性同一性障害特例法からの手術要件を削除	◎
● 婚姻の不平等（同性間の婚姻の法制化）	◎
● 性的指向及び性自認に基づく差別禁止法の制定	△不利な状況にあるグループの女性の交差的差別根絶のため、雇用、健康、公共生活への参加について平等なアクセス保障。

# SRHR市民社会レポート勧告総括

## CSO勧告案

## CEDAW勧告

42(b)刑法および母体保護法を改正し、**中絶を合法化し、すべての場合において非犯罪化し、女性と思春期の女兒が安全な中絶および中絶後のサービスを十分に利用できる**ようにして、女性の権利の完全な実現、女性の平等、リプロダクティブ・ライツに関する自由な選択を行うための女性の経済的・身体的自律を確保する

42(c)中絶を求める女性に対する**配偶者同意の要件を削除するよう、法律を改正する**  
→**2年後書類によるフォローアップ対象**

(d) 経口中絶薬を含む安全な中絶サービスが、**アクセスしやすく、支払い可能な価格で、健康保険でカバーされ、締約国の領域全体ですべての女性と女兒が利用できる**ようにする；

(e) すべての女性が**自主的な不妊手術を受けられるようにするため、配偶者の同意の要件を廃止するよう母体保護法を改正すること**；

● 墮胎罪撤廃・母体保護法改正

# SRHR市民社会レポート勧告総括

## CSO勧告案

## CEDAW勧告

●緊急避妊薬を含む避妊法へのアクセス

42(a)すべての女性と女兒に、**緊急避妊薬を含む手頃な価格の現代的避妊法への十分なアクセス**を提供すること。これには、**16歳と17歳の女兒が避妊法を利用するために親の同意を得るという要件を撤廃すること**も含まれる；

→**2年後書類によるフォローアップ対象**

●包括的性教育の公教育への導入

38(c) 若年妊娠と性感染症を予防するための責任ある性行動に関する教育を含む、**年齢に応じた包括的性教育が、学校教育課程に適切に組み込まれ、定期的な授業が行われ、その内容や使用される言葉について議員や公務員による干渉がないようにすること**；

# SRHR市民社会レポート勧告総括

## CSO勧告案

## CEDAW勧告

●性同一性障害特例法からの手術要件を削除

42 (f) **2023年の最高裁判決を実装すべく、2003年の性同一性障害特例法第3条を遅滞なく改正すること。そして、同法3条の規定により不妊化措置を受けなければならなかったすべての被害者が、賠償を含む効果的な被害回復を受けられるようにすること。**

●婚姻の不平等（同性間の婚姻の法制化）

52(d) **同性間の婚姻関係や結婚、ならびに国際私法のもとで登録された同性間の婚姻関係について承認を与えること。**また、同性婚あるいは事実婚の状態にある女性たちが養子を迎え入れることを可能にすること。

●性的指向及び性自認に基づく差別禁止法の制定

不利な状況にあるグループの女性

### 39. **Workplace discrimination**

48. 委員会は、アイヌの女性、同和地区の女性、在日韓国・朝鮮人の女性、障害のある女性、**LBTIの人々**、および移民の女性たちに対する、**交差的な差別の根絶のための努力を締結国がより強固に行うよう勧告する。**それにより、**雇用、健康、公共生活への参加について、平等なアクセスが保障されるようにしなければならない。**



# CEDAW勧告に法的拘束力はない？



# G7広島首脳コミュニケ

安全で合法的な中絶と中絶後のケアへのアクセスへの対応によるものを含む、全ての人の包括的なSRHRを達成することへの完全なコミットメントを再確認する。

SRHRがジェンダー平等並びに女性及び女児のエンパワメントにおいて、また、性的指向及び性自認を含む多様性を支援する上で果たす、不可欠かつ変革的な役割を認識する。



# G7広島首脳コミュニケ

我々は、あらゆる多様性をもつ女性及び  
女児、そしてLGBTQIA+の人々の政治、  
経済、教育及びその他社会のあらゆる分  
野への完全かつ平等で意義ある参加を  
確保し、全ての政策分野に一貫してジェン  
ダー平等を主流化させるため、社会のあ  
らゆる層と共に協働していくことに努める。

(…) 多様性、人権及び尊厳が尊  
重され、促進され、守られ、あらゆる  
人々が性自認、性表現 あるいは  
性的指向に関係なく、暴力や差別  
を受けることなく生き生きとした人  
生を享受することができる社会を  
実現する。





# この先の4年間—トランプ氏の再選を受けて

## ‘Your body, my choice’: Attacks on women surge on social media following election

<https://edition.cnn.com/2024/11/11/business/your-body-my-choice-movement-election/index.html>

By Clare Duffy, CNN  
4 minute read · Updated 9:27 AM EST, Wed November 13, 2024



### 日本保守党・百田氏、「30歳超えたら子宮摘出」発言を撤回し謝罪

2024年11月10日 17時26分



コメントプラス

常見陽平さんなど 2件のコメント



名古屋市長選の応援演説に駆けつけ、冒頭に自身のユーチューブ番組での発言について弁明する日本保守党の百田尚樹代表。右は同党事務総長の有本香氏 =2024年11月10日午後3時16分、JR名古屋駅前、溝脇正撮影

日本保守党の百田尚樹代表は10日、自身のユーチューブ番組での「(女性は)30(歳)超えたら子宮摘出」などという自身の発言について、「それくらいのことをしないと社会構造の変革はできないという意味で言った。発言を撤回して謝罪したい」と述べた。

「保守」は台頭したのか 高市人気と日本保守党から見えるもの →

この日告示された名古屋市長選の応援演説

<https://digital.asahi.com/articles/ASSCB2QQHSCBOIPE00KM.html>



# 緊急避妊薬の試験販売、薬局数が拡大 東京都では1カ月停止、なぜ？

有料記事

藤谷和広 足立菜摘 後藤一也 2024年11月25日 15時00分

コメントプラス

小林恭子さんのコメント



会見する東京都薬剤師会の高橋正夫会長(右) =2024年11月8日、東京都千代田区、藤谷和広撮影

緊急避妊薬を処方箋(せん)なしで試験販売する国の研究事業で、参加する薬局が今年秋に全国145店から約340店に拡大した。処方箋がいない「OTC医薬品」にするかどうかを判断するため、利用状況や適切な販売体制を狙いだ。一方、東京都では説明販売が1カ月、中断する一幕も

緊急避妊薬は、望まない妊娠卵を遅らせる薬。性交後72時間割の確率で避妊できるとされる。

[https://digital.asahi.com/articles/DA3S16098722.html?iref=pc\\_ss\\_date\\_article](https://digital.asahi.com/articles/DA3S16098722.html?iref=pc_ss_date_article)

日本経済新聞

記事利用について

## ED治療薬、処方箋なしで購入解禁を検討 厚労省

2024/11/26 17:49 | 日本経済新聞 電子版



<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO85061560W4A121C2EP0000/>



性と健康に関する知識普及を目指す“プレコンセプションケア”の検討会を初開催...



後で見る



共有



見る YouTube

## 性と健康に関する知識普及を目指す“プレコンセプションケア”の検討会を初開催 年齢と妊娠の関係や卵子凍結など こども家庭庁

フジテレビ 社会部

2024年11月29日 金曜 午前0:49



SAVE UP TO 15% IN ASIA PACIFIC

Members can save even more. Book by December 6.

Terms apply

LEARN MORE



性と健康に関する正しい知識の普及を目指す、「プレコンセプションケア」について、初めての検討会が開かれました。

「プレコンセプションケア」とは男女ともに性や妊娠・出産に関する正しい知識を身に付け、健康管理を行うよう促す取り組みです。

<https://www.fnn.jp/articles/-/794468>

JOICFP

R

Reproductive

H

力を合わせて、女性の権利とSRHRを守って  
いきましょう！

Sexual Reproductive Health and  
Rights for all

Thank you !